

平成23年3月7日  
東北地方整備局

## 入札監視委員会の審議概要について (第一部会第4回定例会議)

東北地方整備局入札監視委員会の第一部会第4回定例会議は、2月23日(水)に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要(別紙)についてお知らせします。

議事では、委員会が抽出した案件9件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

### 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

(第一部会) 仙台市青葉区二日町9番15号

TEL (022) 225-2171 (代表)

主任監査官	くまが	がい	い	さ	お	(内線2114)
入札契約監査官	熊	谷	伊	佐	男	
契約管理官	丸	山	栄	さ	か	(内線2220)
技術開発調整官	新	野	俊	晴	は	(内線2222)
	小	関	賢	次	じ	(内線3120)

東北地方整備局 入札監視委員会（第一部会） 審議概要

開催日及び場所	平成23年 2月23日（水） 東北地方整備局 大会議室	
委員	部会長 佐藤 英世（東北学院大学法科大学院教授） 部会長代理 宮原 育子（宮城大学事業構想学部事業計画学科教授） 委員 京谷 孝史（東北大学大学院工学研究科土木工学専攻教授） 委員 熊谷 真宏（公認会計士・税理士）	
審議対象期間	平成22年10月 1日 ～ 平成22年12月31日	
審議案件	総件数 9件 （別紙－1 審議案件概要書 のとおり）	
工 事	一般競争入札（政府調達）	0件
	一般競争入札 （政府調達以外）	3件
	工事希望型競争入札	1件
	工事希望型以外の指名 競争入札	1件
	随意契約	1件
	建設コンサルタント業務等	2件
役務の提供等及び物品製造等	1件	
	（備考） ○入札結果及び工事・建設コンサルタント業務等の発注件数、指名停止件数・談合情報等の報告並びに低入札価格調査対象工事の件数等の報告を行った。	
委員からの意見・質問、 それに対する説明・回答	別紙－2のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	別紙－3のとおり	

## 審議案件概要書

## (工事)

	工事名	入札方式	場所	契約金額 (単位:千円)	入札参加者数
1	十三盛道路改良工事	一般競争入札方式 (政府調達以外)	青森県五所川原市	218,400	9
2	国道45号千徳大橋上部工事	一般競争入札方式 (政府調達以外)	岩手県宮古市	547,050	19
3	浅瀬石川ダムオリフィス主 ゲート水密ゴム修繕工事	一般競争入札方式 (政府調達以外)	青森県黒石市	11,550	1
4	小川原湖出張所改修工事	工事希望型競争入 札方式	青森県三沢市	5,775	12
5	八幡平山系流砂観測装置他 設置工事	工事希望型以外の 指名競争入札方式	岩手県八幡平市 ~ 岩手県岩手郡雫石町	20,475	3
6	湯沢地区(湯沢市桑崎字上 谷地)道路損傷復旧	随意契約方式	秋田県湯沢市	7,298	

## (建設コンサルタント業務等)

	業務名	入札方式	場所	契約金額 (単位:千円)	入札参加者数
7	東北管内跨道橋健全性調査 業務	公募型及び簡易公募型以外 の指名競争入札方式	東北地方整備局管内	17,262	9
8	月山地区地すべり対策検討 業務	簡易公募型プロポ ーザル方式	新庄河川事務所	37,800	1

## (役務の提供等及び物品の製造等)

	業務名	入札方式	場所	契約金額 (単位:千円)	入札参加者数
9	用地補償管理システム業務 アプリケーション改良業務	一般競争入札方式	東北地方整備局外8 地方整備局等	9,660	1

別紙-2

1. 報告	
意見・質問	説明・回答
・なし	

2. 審議	
1 十三盛道路改良工事	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・8者入札のうち、同じような入札額が2ブロックに分かれる。このような入札傾向には、疑いをもって対応すべきだ。</li> <li>・入札者が精密な積算を行えば、入札額にバラツキが生じると思うが、同額の入札額が揃うと不思議な感じがする。</li> <li>・入札者は、精緻な原価計算をして入札するのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工種の比較的単純な工事であり、材料費・歩掛りも公表されていることが考えられる。談合疑義については、ルールに基づき対応することになっている。</li> <li>・積算内訳書のチェックなどを実施したが、特に問題はなかった。</li> <li>・応札者はそれぞれの判断で入札している。</li> </ul>
2 国道45号千徳大橋上部工工事	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上部工工事の受注者と、下部工工事の施工者は同一業者か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事種別が異なっているので別の業者である。</li> </ul>
3 浅瀬石川ダムオリフィス主ゲート水密ゴム修繕工事	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲート用水密ゴムの金型を保持していれば有利になると思われるが、このような工事は価格競争に馴染むのか。</li> <li>・水密ゴムのような部品は、どのように積算しているのか。</li> <li>・落札率99.8%については、どのように考えているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金型を保有していなくても、施工可能であるため一般競争入札方式とした。</li> <li>・見積りにより積算している。</li> <li>・材料、工数は見積りによっているため、価格差が生じなかったものと推測される。</li> </ul>

意見・質問	説明・回答
<b>4 小川原湖出張所修繕工事</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築工事の施工実績を求めているが、どのような内容か。</li> <li>・ 1 回目の入札では、全員予定価格を上回っているが、何が考えられるか。</li> <li>・ 発注時期について、施工期間が冬期間となっているが理由は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁舎の改修工事であることから、住宅や倉庫、体育館等の工事以外の実績を求めた。</li> <li>・ 見積りにより積算した材料費等（鉄骨）に差異があったので、発注者積算の考え方を補足説明している。</li> <li>・ 工事施工にあたり周辺住民への説明を実施し、騒音や振動の関係から、窓を閉め切る冬期間の施工とした。</li> </ul>
<b>5 八幡平山系流砂観測装置他設置工事</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合的な土砂管理を行うための観測装置とは、どのような機器か。</li> <li>・ 本工事には、データの回収も含まれているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八幡平山系において土砂移動の状況を把握するものであり、流砂量計、水位計、濁度計等の機器である。</li> <li>・ 観測装置の据付・調整であり、データの回収は別途になる。</li> </ul>
<b>6 湯沢地区（湯沢市桑崎字上谷地）道路損傷復旧</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 損傷復旧費用は原因者に請求するとのことだが、予定価格を作成する意義は何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路損傷復旧は原因者負担を原則として、道路管理者が施工することになっている。 予定価格は施工費用の妥当性も検証している。</li> </ul>
<b>7 東北管内跨道橋健全性調査業務</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価点数が同点の9位の3者のうち、2者を指名しているが、同点の3者全員を指名し11者とするのではないのか。</li> <li>・ 現地作業のやり方で入札価格に差が生じるが、例えば、打音検査の場合、範囲や回数など具体的に決めているのか。</li> <li>・ 点検の実施方法が同じなら、落札率が65.6%で、現場作業を含め履行可能なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ このような場合は、業務成績、表彰の有無など順次評価し、原則として10者を指名している。</li> <li>・ 点検の実施方法については具体的に定めている。</li> <li>・ 低入札価格調査を実施したが、必要な履行体制等が確保されており履行可能と判断した。</li> </ul>

意見・質問	説明・回答
<b>8 月山地区地すべり対策検討業務</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・財団法人の役員構成のうち、本省出身を含めOBは何人か。</li> <li>・技術提案書の評価は、どのように行われたのか。</li> <li>・評価を行うのが職員だけなのか。競争性、透明性確保の観点から、外部の人も入れるべきでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3人である。</li> <li>・提出された技術提案書のヒアリングを実施し、事務所職員3名で評価している。</li> <li>・業務の分かる職員で評価している。 プロポーザル方式については、第三者機関である「総合評価委員会」が設置されており、評価項目・評価方法・評価結果などについて審査を受けている。</li> </ul>
<b>9 用地補償管理システム業務アプリケーション改良業務</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来から使用されているシステムの改良業務とのことだが、改良業務は毎年発注しているのか。また、応札状況は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の改正等必要に応じて実施しているが、ほぼ毎年行っている。 なお、本システムは国土交通省の各地方整備局等が共同で開発し利用しているものである。 本年度は東北地方整備局が幹事となり一般競争により改良業務を発注したもので、応札者は当システム開発を行った業者1者である。</li> </ul>

別紙-3

3. 委員会による意見の具申又は勧告内容

・なし